

製品名: GR ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11733**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	95kDa

抗原情報

遺伝子名	NR3C1
別名	NR3C1; GRL; Glucocorticoid receptor; GR; Nuclear receptor subfamily 3 group C member 1
遺伝子 ID	2908.0
SwissProt ID	P04150
免疫原	抗血清はヒト GR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 181-230

背景

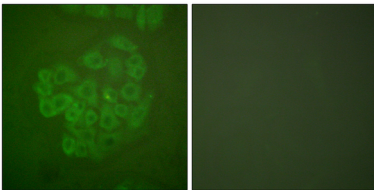
この遺伝子はグルココルチコイド受容体をコードしており、グルココルチコイド応答遺伝子のプロモーター領域にあるグルココルチコイド応答配列に結合して転写を活性化する転写因子として、また他の転写因子の調節因子として機能します。この受容体は通常は

細胞質に存在しますが、リガンド結合により核内へ移行します。標的組織における炎症反応、細胞増殖、分化に関与しています。この遺伝子の変異は、全般的なグルココルチコイド耐性と関連しています。

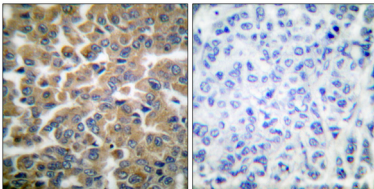
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

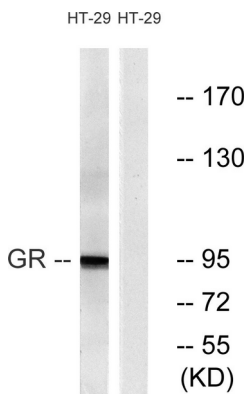
画像データ



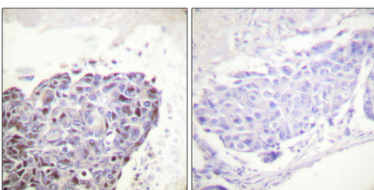
GR抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GR抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



GR抗体を用いた、PMA 125 ng/ml 30 μ l 処理したHT-29細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は1:100 (4 $^{\circ}$ C、一晚)に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリスEDTA (pH8.0)を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右)は、免疫原ペプチドで前処理した。